



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月23日

上場会社名 KOA株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6999 URL <https://www.koaglobal.com>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 向山 浩正
問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略イニシアティブ 経営戦略センター (氏名) 山本 容平 (TEL) 0265-70-7171
ゼネラルマネージャー
半期報告書提出予定日 2026年11月6日 配当支払開始予定日 2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	43,629	26.0	3,739	186.4	3,983	146.2	5,820	404.1
2026年3月期中間期	34,634	8.6	1,305	175.0	1,618	—	1,154	—

(注) 包括利益 2027年3月期中間期 6,517百万円 (221.3%) 2026年3月期中間期 2,028百万円 (102.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	156.71	—
2026年3月期中間期	31.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	150,930	94,509	62.6	2,543.78
2026年3月期	151,550	88,577	58.4	2,385.12

(参考) 自己資本 2027年3月期中間期 94,509百万円 2026年3月期 88,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2027年3月期	—	31.50	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	46.50	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,500	26.6	8,310	127.9	8,560	63.9	9,660	144.5	260.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2027年3月期中間期	37,479,724株	2026年3月期	37,479,724株
2027年3月期中間期	326,581株	2026年3月期	342,428株
2027年3月期中間期	37,144,088株	2026年3月期中間期	37,126,960株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ホームページで同日開示しております。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年10月26日(月)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また、当日使用する決算説明会資料につきましては、TDnet及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書.....	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
3. 補足情報	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年4月1日～2026年9月30日)における世界経済は、米国を中心に底堅く推移したものの、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりや各国の金融政策の動向に加え、各国の通商政策を巡る不確実性などから、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、AI関連機器向け需要が引き続き拡大したほか、自動車の電動化や高度運転支援システム(ADAS)の普及を背景として、自動車向け需要は総じて堅調に推移しました。また、産業機器向け需要についても、拡大傾向で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは2030ビジョンの実現に向けた取組みを3つのフェーズに分けて進めており、2025年度からはフェーズ2である「2027中期経営計画(2025年～2027年)」の目標達成に向けて、「ROIC経営を軸に利益成長と効率向上を実現する」ことをコンセプトに掲げ、製品ポートフォリオ戦略、技術戦略、ならびに企業体質の強化に注力してまいりました。

販売面におきましては、中国の自動車向け、欧米・中国のディストリビューター向け、アジアのAI関連機器向け、日本の産業機器向け需要が拡大したことや、為替の円安影響などにより、当中間連結会計期間の売上高は43,629百万円(前年同期比8,995百万円増、26.0%増)となりました。

利益面におきましても、原材料価格の上昇がありましたが、売上の増加等により、営業利益は3,739百万円(前年同期比2,434百万円増、186.4%増)、経常利益は3,983百万円(前年同期比2,365百万円増、146.2%増)となりました。また、当社の連結子会社である興和電子(太倉)有限公司の工場移転に伴い、政府からの移転補償金3,098百万円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は5,820百万円(前年同期比4,666百万円増、404.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は150,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ、620百万円減少いたしました。主な要因としましては、有形固定資産等の減少によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6,552百万円減少いたしました。主な要因としましては、長期借入金等の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は62.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー5,116百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△1,299百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△5,564百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は25,835百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年7月23日(2027年3月期第1四半期決算発表時)に公表しました内容を変更しております。

詳細につきましては、本日(2026年10月23日)公表しました「2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(業績予想に関する留意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,997	27,333
受取手形及び売掛金	15,958	18,018
商品及び製品	4,958	5,115
仕掛品	4,944	4,797
原材料及び貯蔵品	3,565	4,001
その他	4,338	4,689
貸倒引当金	△60	△52
流動資産合計	62,701	63,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,559	40,500
機械装置及び運搬具(純額)	19,808	19,437
その他	13,116	12,057
有形固定資産合計	74,485	71,995
無形固定資産	3,021	2,928
投資その他の資産		
その他	11,371	12,133
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	11,341	12,103
固定資産合計	88,848	87,027
資産合計	151,550	150,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,233	4,468
短期借入金	9,881	7,508
賞与引当金	1,954	1,957
その他	9,773	7,142
流動負債合計	24,843	21,078
固定負債		
長期借入金	35,532	33,073
退職給付に係る負債	580	572
その他	2,016	1,697
固定負債合計	38,130	35,342
負債合計	62,973	56,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,020	9,056
利益剰余金	57,747	62,936
自己株式	△240	△229
株主資本合計	72,560	77,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,646	3,485
為替換算調整勘定	11,852	11,767
退職給付に係る調整累計額	1,517	1,459
その他の包括利益累計額合計	16,016	16,712
純資産合計	88,577	94,509
負債純資産合計	151,550	150,930

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	34,634	43,629
売上原価	24,438	29,979
売上総利益	10,195	13,650
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,171	3,465
賞与引当金繰入額	620	718
その他	5,098	5,727
販売費及び一般管理費合計	8,890	9,910
営業利益	1,305	3,739
営業外収益		
持分法による投資利益	160	289
材料作業屑処分益	151	209
その他	564	442
営業外収益合計	875	941
営業外費用		
支払利息	315	392
為替差損	63	212
その他	184	92
営業外費用合計	563	697
経常利益	1,618	3,983
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	209	—
移転補償金	—	3,098
特別利益合計	209	3,104
特別損失		
固定資産処分損	22	15
固定資産売却損	—	8
減損損失	—	26
特別損失合計	22	50
税金等調整前中間純利益	1,805	7,037
法人税等	650	1,216
中間純利益	1,154	5,820
親会社株主に帰属する中間純利益	1,154	5,820

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	1,154	5,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267	839
為替換算調整勘定	647	△115
退職給付に係る調整額	13	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	△54	30
その他の包括利益合計	873	696
中間包括利益	2,028	6,517
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,028	6,517

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,805	7,037
減価償却費	3,240	3,589
賞与引当金の増減額(△は減少)	313	0
受取利息及び受取配当金	△239	△151
支払利息	316	392
持分法による投資損益(△は益)	△160	△289
投資有価証券売却損益(△は益)	△209	—
移転補償金	—	△3,098
売上債権の増減額(△は増加)	△356	△2,179
棚卸資産の増減額(△は増加)	△347	△432
仕入債務の増減額(△は減少)	536	1,374
未収消費税等の増減額(△は増加)	8	△189
その他	198	2
小計	5,105	6,055
利息及び配当金の受取額	294	309
利息の支払額	△306	△399
法人税等の支払額	△460	△1,758
法人税等の還付額	189	8
移転補償金の受取額	—	901
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,822	5,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,354	△1,316
定期預金の払戻による収入	2,045	1,045
有形固定資産の取得による支出	△5,497	△1,711
無形固定資産の取得による支出	△189	△19
投資有価証券の売却による収入	242	—
その他投資にかかる支出	△76	△124
その他投資にかかる収入	464	755
その他	24	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,339	△1,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△253	△554
短期借入れによる収入	98	100
長期借入金の返済による支出	△847	△4,484
長期借入れによる収入	2,386	—
配当金の支払額	△554	△628
その他	△61	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	767	△5,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	243	△1,574
現金及び現金同等物の期首残高	24,799	27,410
現金及び現金同等物の中間期末残高	25,043	25,835

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,656	11,564	5,676	6,736	34,634	—	34,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,830	7,270	13	0	25,114	△25,114	—
計	28,487	18,834	5,690	6,737	59,748	△25,114	34,634
セグメント利益	901	471	59	363	1,796	△491	1,305

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△491百万円にはセグメント間取引消去△125百万円、棚卸資産等の調整額△366百万円が含まれております。

2. 日本、アメリカ以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) アジア … 台湾、シンガポール、中華人民共和国、香港

(2) ヨーロッパ … ドイツ

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2026年4月1日 至2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,517	15,424	6,856	7,830	43,629	—	43,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,662	9,248	2	—	31,913	△31,913	—
計	36,180	24,673	6,859	7,830	75,543	△31,913	43,629
セグメント利益	2,500	677	304	503	3,985	△246	3,739

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△246百万円にはセグメント間取引消去89百万円、棚卸資産等の調整額△335百万円が含まれております。

2. 日本、アメリカ以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) アジア … 台湾、シンガポール、中華人民共和国、香港

(2) ヨーロッパ … ドイツ

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注実績

当中間連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
日本	16,819	151.1	9,225	185.3
アジア	20,763	171.6	9,471	247.0
アメリカ	7,582	134.8	3,129	189.3
ヨーロッパ	8,041	118.0	1,415	131.6
合計	53,206	149.1	23,241	201.4